

洞峰学園コミュニティ・スクール推進会議

「学園をどんな学校にしていきたいか」「どんな子供たちを育てていきたいか」「子供たちにどんな力を身に付けてもらいたいか」そんなことを話し合う「コミュニティ・スクール(CS)協議会」の本格導入(R6年度)に向けて、只今、準備を進めてきているところです。この1年間の「洞峰学園CS推進会議」(準備会議)の取組をまとめました。

<CS推進会議の構成メンバー>

地域の方 4人 学識経験者 4人

PTA関係2人 学校職員 12人

合計 22人



第1回推進会議(5月30日(火))

熟議テーマ「どんな学校にしていきたいか! 学園・学校のランドデザインについて考えよう。」
→はじめに、現在の学校ランドデザインについて理解し、学校ランドデザインについて重きをおきたい点を出し合い、目標、内容等の項目ごとに重みづけを行いました。

★現在の学校ランドデザインに、付箋で加筆する形で熟議を行いました。これからの学校の在り方や未来の子供たちに求められる資質等について、熱く意見が交わされました。

第2回推進会議(10月4日(水))

熟議テーマ「洞峰学園において、児童生徒の成長をどう見守り、支えていくか
～「学びをつなぐ」×「人をつなぐ」教育を通して、学校と地域が行えることは～
→学校毎に「児童生徒に身に付けさせたい力」について話し合いました。その後、学園全体で「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」について、学園の課題、地域の課題について熟議を行いました。

★多くの課題について意見が交わされました。今回の話し合いをもとに、具現化に取り組んでいきたいと思えます。何年も継続して、地域と学校が連携していく文化を大切にしていきたいと座長から助言をいただきました。

第3回推進会議(2月9日(金))予定

熟議テーマ「児童生徒に身に付けさせたい学校や地域の課題をもとに、これからのCSの方向性を考える。」

→保護者や児童生徒のリアルな姿をもとに、特に重要な課題から重みづけをし、対応策について意見交換を行います。来年度のCS協議会につないでいきます。

★「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」など、これからの学校運営で重点化すべき課題が明らかになってきました。熟議を通し、課題を明確にし、子供たちを育てていきます。



<1年間の振り返りと今後について>

- ・保護者や地域の方々と共に子供たちを育てていくという実感が、より確かなものとなりました。
- ・今ある学校の姿について、新たな目線で見直すことができました。多様な視点を取り入れて、今後の学校運営を進めてきたいと思えました。
- 豊かな地域資源を活用していくにあたって、効果的な方法や場面等について、具体化していく必要があると思えました。
- 洞峰学園CSの活動状況について、多くの人に理解していただき共有していくこと、また、CSを学校の新しい形として認知していただくことが大切であると思えました。